

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3670101363		
法人名	有限会社 シルバーケア		
事業所名	グループホーム春日苑・川内		
所在地	徳島県徳島市川内町沖島273		
自己評価作成日	令和2年9月27日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会		
所在地	徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地 県立総合福祉センター3階		
訪問調査日	令和2年11月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

田園地帯の静かな環境の中、家庭的な雰囲気を感じながら、ゆったりとした生活を楽しめるよう全スタッフ一丸となり支援させて頂いております。もしお身体が不自由になられても特殊浴槽も完備しておりますので、ゆっくりとお湯に浸かってくつろいで頂けます。「我が家のような環境で暮らす」という思いで開設された春日苑はゆったりとした平屋造りで、広い敷地には中庭や菜園などがあり、のんびりと散歩することもできます。また「ともに過ごす時間を大切にします」という運営理念のもと、3本柱となる「あなたの思いを大切に」「いきいき暮らせる為の健康づくり」「人と人とのふれあいを大切に」というサブ理念を掲げ各ユニットで目標を設けて実践させていただいております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所では、“共に過ごす時間を大切にします”という理念に加えて、“あなたの思いを大切に”、“いきいき暮らせる為の健康づくり”、“人と人とのふれあいを大切に”という3つの理念を掲げている。毎年、理念について職員間で話しあい、意識の共有化を図るとともに、日ごろの支援につなげている。2か月に1回開催する、運営推進会議には、利用者家族や地域の代表者、地域包括支援センター職員、近隣の事業所、消防署など、多方面からの出席により、多くの意見を得るとともに、各関係機関との連携・協力を努めている。新型コロナウイルス感染症の流行下においても、書面により意見を得ることで、サービスの質の向上に取り組んでいる。また、防災訓練の際にも近隣住民や消防署等の協力を得るなど、地域密着型サービス事業所として、地域との連携にも積極的に取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			すみれ 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎日の申し送り時に理念の唱和をしているユニットにも額に入れ良く見える中央に飾っている	事業所では、毎年、理念について、全職員で見直す機会を設けることで、サービスの意義や事業所の役割について振り返っている。朝の申し送り時の唱和や事業所内の掲示により、職員間での共有化を図り、日ごろの実践に繋げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	川内町の文化祭に出品し文化祭の当日には皆で見に行ったり運営推進会議に地域の方々に参加していただいている	事業所は、地域の自治会に加入し、季節ごとの行事に参加・協力するなどして、地域との交流を図っている。感染症(コロナ等)の流行下においては、近隣を散歩したり、移動図書館を活用したりして、地域との繋がりが途切れないよう工夫している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で発表したり中学生や高校生の職場体験の受け入れをしている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	色々な取り組みをし実践状況を報告しサービス向上に生かす為、家族様や参加者の方からの意見をいただいている	2か月に1回、運営推進会議を開催している。会議には、利用者家族や地域の代表者、市の担当者、消防署、医療関係者、教育関係者、近隣の事業所など、多方面からの出席を得て、相互に意見を交換している。感染症の流行に伴い、書面による協議を行っている。出された意見等は、サービスの質の向上に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に市の包括センターの職員の方に参加いただいたり、日常的に連携を取り合い協力関係を築いていけるようにしている	管理者は、事業所の運営に関する疑問点等について、市の担当者に電話などで相談している。相談時には、助言やアドバイスを受けするなど、協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護保険指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する勉強会を行って身体拘束が行われていないか全員で話し合っている	事業所では、定期的に身体拘束に関する勉強会を開催し、拘束の内容や弊害について、職員間での周知・理解を図っている。日中は玄関を開放するなど、利用者の安全で自由な暮らしに向けて支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関する勉強会を行って虐待が行われていないか全員で話し合っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			すみれ 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用している利用者がおり成年後見制度について勉強会を行い理解し活用できるように努力している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には十分な説明を行ない理解・納得いただけるよう努力している		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や運営推進会議で意見をいただき運営推進会議に参加されている方々と意見交換し運営に反映させている	事業所では、日ごろの支援のなかで、利用者の意見や要望等をききとるよう努めている。家族等については、事業所への来訪時や年1回のアンケートなどにより、意見や要望等を把握している。把握した意見等をもとに職員間で話しあい、運営面に反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニットで職員の意見を個々に聴き職員会議で意見を出し合い、日々理解し合えるよう努力している	事業所では、月1回、ユニットごとに会議を行い、職員からの意見や提案等を聞く機会を設けている。申し送りノートや職員会議の内容を回覧するなどして、全職員が意見を共有できるよう取り組んでいる。出された意見等をもとに協議し、運営面に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課を行い一人ひとりが向上心を持って働けるよう職場の環境を整えている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人ひとりに応じた研修に参加できるよう調整している。会議後には研修の伝達を行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	苑外研修や他事業所との交流を行いサービスの質の向上に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			すみれ 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様、ご家族様とコミュニケーションを図り困っていることや不安に思っていることを聞く機会を作り安心して生活が送れる様に、馴染みの関係が持てるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が困っていること、不安なことをしっかり聞き不安を取り除ける様に努力し、信頼関係が早期に築けるよう努める		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様とご家族様が必要とされていること、求めていることを出来る限り提供しその他のサービスへの対応にも努める		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事作業を一緒に行なう事で信頼関係を築き利用者様の出来ること出来ないことを探し役割を持っていけるように支援している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	苑での利用者の様子がご家族様にわかるように写真入りの近況報告の手紙を毎月送らせていただき面会時にはご家族のみで過ごせる時間を作っている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人の面会や電話の受け入れをしている苑の周辺を散歩したり川内町の文化祭に行くことで馴染みの人と交流が出来る人もいる	事業所では、利用者の馴染みの関係継続に努めている。感染症の流行下では、対策を講じつつ、少人数で近隣を散歩したり、家族や知人等と電話・手紙のやり取りを支援したりして、関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	行事やレクに参加していただき利用者様同士でコミュニケーションが図れるよう支援している		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			すみれ 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても家族様への連絡をしたりお見舞いに行ったり必要に応じて相談や支援を行い信頼関係を保っている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様ご家族様の意向を尊重し重度化した場合でも出来る限りの援助を行いその人らしい暮らしが出来るよう支援している	職員は、日ごろの支援のなかで、利用者一人ひとりの思いや希望などを把握するよう努めている。意思疎通が困難な場合は、家族等から本人の生活歴をききとっている。申し送りノートを活用して、職員間で共有化を図り、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	馴染みの家具や服を使用いただき可能な限りこれまでの生活環境を変えない様に支援している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの残存機能に着目し心身の状態に応じた過ごし方が出来る様に配慮している		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングを関係ある職員で行い利用者様やご家族様の意見や要望を取り入れた介護計画を作成している	事業所では、日ごろの支援のなかで把握した情報を共有し、利用者や家族等の意向を反映した介護計画を作成している。計画を見直す際には、医師や歯科衛生士など、医療関係者の意見も踏まえつつ、現状に即した計画となるよう取り組んでいる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	モニタリング・介護記録・総合記録表・排泄記録表等で状態の変化を知ることにより介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様やご家族様の状況その時々生まれる要望に対し柔軟な支援サービスの多機能化に取り組んでいる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			すみれ 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	馴染みの銀行・郵便局・JA・スーパーなどを利用することで安全に安心して暮らしを楽しむことができる様に支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様やご家族様の希望するかかりつけ医や協力医院等と連携を図り必要な医療を受けられるように支援している	事業所では、利用者や家族等の同意を得て、協力医療機関をかかりつけ医としている。週1回の訪問診療や緊急時の対応など、連携体制を整備している。また、近隣の調剤薬局の来訪もあり、利用者が適切な医療を受けることができるよう協力関係を築いている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携ノートを利用し利用者様の体調等を看護師に伝えて適切な受診が受けられる様支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはお見舞いに行く事で関係を継続し病院関係者と利用者様の情報交換を密にすることで退院時の不安を少なくするよう関係作りを行っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に重度化時における方針や終末期時の在り方の説明を行なっている 利用者様の状態変化に応じ、事業所での対応をご家族様に十分に説明し関係機関と連携を図りながら調整を行っている	事業所では、入居時の段階で、重度化や終末期の指針について、利用者や家族等に説明し、同意を得ている。本人の心身状況の変化に応じて、家族等の意向を確認しつつ、協力医療機関等と連携して支援に取り組んでいる。また、事業所内で終末期等に関する研修を実施して、サービスの質の向上に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変、救急時に備えてAEDや酸素ポンペを常備している 緊急事態に対する勉強会を定期的に行い速やかな対応が出来る様に努めている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を行い消防署の指導を受け運営推進会議で地域住民の方へ訓練の参加を呼び掛けている	事業所では、年2回、消防署等の協力を得て、避難訓練を実施している。日中・夜間の火災や地震、水害などを想定し、利用者とともに避難経路の確認などに取り組んでいる。また、災害時の連絡網に地域住民の連絡先を加えるなど、地域と協力体制も築いている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			すみれ 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員が利用者様のプライバシーに配慮した言葉掛けや対応に努めている	職員は、利用者一人ひとりの人格を尊重した支援に取り組んでいる。面会スペースにパーテーションを設けたり、入浴や排泄支援時の声掛けに配慮したりするなど、誇りやプライバシーを損ねないように支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々利用者様とコミュニケーションを図ることで思いや希望をくみ取り自己決定が出来る様に配慮行っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様一人ひとりの生活ペースに合わせた過ごし方に配慮して支援を行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人ひとりの個性を活かし、その人らしい洋服選びやメイクが出来る様に支援行っている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みを把握しメニュー作りの時に食べたいものをお聞きしメニューに取り入れ食事を楽しんで頂けるよう、また一緒に調理をしたり支援している	食事は、事業所で調理したものを提供している。毎日、利用者の希望を確認しつつ、献立を決めている。皮むきや炒め物、食器洗いなど、利用者とともに取り組んでいる。また、誕生日に好みのメニューを出したり、季節の食材を使ったりして、食事を楽しむことができるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体調に合わせてキザミ食やミキサー食にしたりお粥に変更したりしている 食事量、水分量を記録し一日の必要な摂取量の確保に努めている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い夜間は義歯を預かり義歯洗浄剤を使用し清潔に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			すみれ 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	できるだけ同じ時間にトイレに誘導する事でリズムをつけていただきスムーズに排泄できるよう支援している	事業所では、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っている。腸に優しい食材を取り入れたり、腹部マッサージや服薬調整を行ったりして、気持ちよく排泄することができるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給、運動を勧め排泄チェック表を利用し排泄パターンを全員で共有し便秘予防を行っている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	体調に留意し希望を確認し自分の意思で入浴できるよう支援している	事業所では、週3回は入浴することができるよう支援している。利用者一人ひとりの希望に応じて、入浴の時間や温度などを調整している。また、体調に合わせて特殊浴槽を活用するなど、安全かつ安心して入浴できるよう取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調や生活習慣の状況を把握し生活リズムや就寝時間の調整によりストレスを取り除き安眠できるよう支援を行う		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師による薬剤管理を行っている 薬の目的 副作用 用法用量について職員も理解しており利用者様の体調変化の確認に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の生活歴や能力に応じて家事、畑仕事、手芸などを勧めて日々の暮らしを楽しんで頂ける様に支援している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ドライブや買い物、花見や見学などを家族様と相談しながら出かけられる様支援している	事業所では、日ごろから、敷地内や近隣の散歩に出かけている。利用者一人ひとりの希望に応じて、買い物やドライブに出かけることもある。感染症の流行に伴い、少人数で外出するなど、少しでも戸外に出かけることができるよう工夫している。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			すみれ 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様の希望、能力に応じ金銭管理や買い物支援を行っている 訪問販売で利用者様がお支払いできる機会も作っている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自分の携帯電話を使用してもらったり家族に年賀状を出している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾りつけをしたり整理整頓をして不快にならない様にしている	共用空間は、日当たりがよく、明るい空間となっている。ユニットごとに畳のスペースやデッキがあり、利用者一人ひとりが思い思いの場所でくつろげるようにしている。季節や日当たりにあわせて、ソファの配置を変えるなど、居心地よく過ごすことができるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人で過ごしたい時には居室に戻っていたり、話がしたい時にはホールで話が出来る様に整えている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具や服を持ってきていただき居心地よく過ごせるように家族様と連絡を密にしている	居室には、利用者や家族等と相談して、使い慣れた家具や趣味の品などを持ち込んでもらっている。クローゼットや押し入れなどの収納スペースを設けて、利用者が動きやすいようにするなど、安全面にも配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや居室の案内を分かりやすくし利用者様が安心して利用できる安全に過ごせる環境作りに努めている		

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	自己評価	自己評価
			うめ 実践状況	さくら 実践状況	実践状況
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎日の申し送り時に、理念の唱和をし、ユニットにも額に入れて周知・徹底を図っている	理念を申し送りの際唱和している 一人ひとりが生きがいをを持った環境作りをしています	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町民の文化祭に毎年参加し出品もしている 運営推進会議に地域の方に参加して頂き、交流している	地域の一員となり、町内の行事等に参加し交流している	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症高齢者に対する理解を深めて頂けるように、運営推進会議で実践の報告を近隣の方にしたり、施設訪問を行う地元の中学生の職場体験の受け入れをしている	スーパー等に外出を行い交流を図り認知症の人への理解を求めている	
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ユニット毎に特色を活かした取り組みをし、実践状況を報告しサービス向上に生かす為、地域の方やご家族様の方から意見を頂いている	テーマを決め取り組んだ事柄を発表等をし共有を行う また参加者から意見をもらいサービス向上に繋げている	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日常的に連絡を取り合い、運営推進会議に市の包括センターの職員の方に参加頂き、協力関係を築いていけるよう努力している	サービス等の取り組みで分からない事があると積極的に相談を行う	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する勉強会を苑で行い、身体的・精神的拘束の排除に向けたケアの提供に取り組んでいる	定期的に勉強会を行い、しない方向で徹底に努める	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関する勉強会を苑で行い、虐待防止に向けたケアに取り組んでいる	研修や職員会議の中で虐待防止について学び安心して暮らせるよう防止に努める	

自己	外部	項目	自己評価	うめ	自己評価	さくら	自己評価
			実践状況		実践状況		実践状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	実例があり成年後見制度について学ぶ機会を持ち活用している。苑でも勉強会を行い制度を必要とされる方へのサポート体制を整えている		苑内研修等で学ぶ機会を設けている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時解約時には十分な説明を行い、納得・理解を得たうえで、契約・解約・改正を行っている		契約や解約時には利用者様・ご家族様に十分な説明を行い理解・納得をしてもらえる様にする		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や運営推進会議の中で意見を聞き、民生委員の方や地域の有識者の方々と交えた場で意見交換をし運営に反映している		面会時にご家族様の意見を聴く 意見箱の設置などをする		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議やユニットで職員個々に意見を出し合い、日常的に理解を深める努力をしている		職員会議、申し送り時等にその都度意見を出し合う		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課を行い各自が向上心を持って働けるような、職場環境条件の整備に努めている		勤務希望を取り入れたり、職員一人ひとりがやりがいに繋げ働ける職場にする		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員個々に応じた研修への参加を設定し、会議には伝達研修を行っている		職員個人と面談する事で、その時々力を把握しスキルアップに努める		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	苑外研修や他事業所との交流を行い、ケアの実践に活かしサービスの質の向上に努めている		交流訪問したり受ける事でネットワークを作って活動をする		

自己	外部	項目	自己評価	うめ	自己評価	さくら	自己評価	
			実践状況		実践状況		実践状況	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>								
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様、ご家族様とのコミュニケーションを図り、困っている事や不安に思っている事を聞く機会を作り、安心した生活を送れるよう配慮し馴染みの関係が持てるように努めている		利用者様の意思や意向を汲み取りながら無理をせず関係づくりに努めている			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族様の意見や要望をしっかりと聞き、不安感が取り除けるよう努力し早期に信頼関係が築けるよう努めている		ご家族様の意見や要望を聴き、話し合う場を設け不安感を取り除き信頼関係を持つ			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様・御家族様が必要とされている事・求めている事を出来る限り提供しその他のサービスへの対応にも努めている		利用者様とご家族様が求めるサービスを中心とし他のサービスへの対応にも努める			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事・軽作業等を共に行う事で信頼関係を築き、利用者様のできる事・できそうな事を探し、お互いに役割を持ちながら支援している		家事活動や軽作業を共に行い、利用者様の出来る事、出来ない事を理解し信頼関係を築く			
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や行事、家族会にはご家族のみで過ぎて頂ける時間を作っている。また、写真入りの手紙を送付し近況報告をし関係作りをしている		面会時やお誕生会等には家族で過ごせる時間を作っている 手紙等を送り日常の状況を報告する			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様の知人の面会や電話等の受け入れをしたり、行事への参加を勧めたりゆつくり楽しむ場所を提供し、関係が途切れないように努めている		面会や電話等の受け入れの機会を提供する 楽しむ場を提供し関係が途切れない様にする			
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の独立を回避する為、行事やレクの支援を行い、利用者様間のコミュニケーションが図れるよう職員が橋渡しを行っている		レクリエーション等で歌や踊りを一緒に楽しんだり共同作品を作ったり利用者様同士で良い関係を作る			



自己	外部	項目	自己評価	うめ	自己評価	さくら	自己評価
			実践状況		実践状況		実践状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、家族様への連絡や入院時のお見舞いに行き関係を継続している。必要に応じて相談や支援を行い、信頼関係が保たれるようにしている		契約が終了しても近況を伺ったり状況を把握しご本人様とご家族様から相談を受ける等の支援をし努める		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様・御家族様の意向を尊重し重度化した場合も、可能な限り援助を行いその人らしい暮らしができるように支援している		利用者様やご家族様の希望や意向を把握し、その人らしい暮らし方をして頂く		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	馴染みの家具や服を使用して頂き、出来る限りこれまでの生活環境を変えないように支援している		生活環境を把握し利用者様の生活をなるべく続けてもらう		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの残存能力に着目し、心身の状態に応じた過ごし方が出来るように配慮している		個々の状態に気を配り日々の支援に努める		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	関係職員でモニタリングを行い、利用者様やご家族様の意見や要望を取り入れた個別の介護計画を作成している		ご家族様等の意見やアイデアを取り入れながらここに合った介護計画を作成する		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録・排泄チェック表・モニタリング等で個々の状態の変化を知る事により実線や介護計画の見直しに活かしている		介護記録等を職員と共有し介護計画の見直しを行う		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様やご家族様の状況、その時々生ずる要望に対し柔軟な支援サービスの多機能化に取り組んでいる		利用者様やご家族様の状況に合わせた柔軟な支援を提供する		

自己	外部	項目	自己評価	うめ	自己評価	さくら	自己評価
			実践状況		実践状況		実践状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の支所・銀行・郵便局・スーパー等を利用する事で、一人ひとりが馴染みの場所で安全に安心して暮らしを楽しむ事が出来るように支援している		一人ひとりが生き生きと安全な暮らしをしながら楽しめる支援をする		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様や御家族様の希望するかかりつけ医や協力医院等と連携を図り、必要な医療を受けられるよう支援している		利用者様やご家族様の希望を重視しかかりつけ医と事業所との連携を図り適切な医療が受けられる様に努める		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携ノートを利用し利用者様の体調等を看護師に伝え、適切な受信や看護が受けられるように支援している		利用者様の体調を伝えたり医療連携ノートを活用する事で適切な受診が出来る様支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際はお見舞いに行く事で関係を継続し、病院関係者と利用者様の情報交換を密にする事で、入退院時のダメージを少なくするような関係作りを行っている		病院関係と情報交換や相談を行なう事で関係性を作る 間隔をあけて病状の把握をしご家族様からの情報を得て良好な関係維持に努める		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に重度化における方針や終末期の在り方の説明を行っている。また、利用者様の状態変化に応じ、事業所での対応をご家族様に十分に説明し関係機関と連携を図りながら調整を行っている		ご家族様の意見を聴き事業所で出来ることを十分に話し合う医療関係者を含めチームで取り組む		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変・救急時に備え、酸素ボンベ・AED等を常備している。定期的に緊急事態に対する勉強会を行い、速やかに対応ができるように努めている		介護職員による救急法等の勉強会を行いスムーズに対応できるようにする		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災・地震時対応避難訓練を消防署指導の下、定期的に行い運営推進会議等で地域住民の方へ訓練参加の呼びかけを行っている		消防署の指導のもと災害における訓練を定期的に行う		

自己	外部	項目	自己評価	うめ	自己評価	さくら	自己評価
			実践状況		実践状況		実践状況
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様一人ひとりの生活歴や人柄を把握し、尊厳や権利を守りプライバシーに配慮した言葉掛けを行っている。また、利用者様から話しかけやすい雰囲気作りに努めている		利用者様一人ひとりのプライバシーに配慮した対応に努める		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様個々の思いや希望に職員が耳を傾ける事によって、日常生活における微妙な変化に気づき、意志表示が十分出来ない場合は、できるだけ意思を汲み取り自己解決できるように働きかけている		コミュニケーションを図り利用者様の思いや意向を汲み取りながら自己決定出来る様に配慮している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様個々の生活ペースに合わせた過ごし方に配慮して支援を行っている		今までの生活リズムを崩さない様に心掛けている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人ひとりの個性を活かし、その人らしく楽しめるように洋服選びやメイクの支援を行っている		出張理容、メイクや自分好みの衣類を選びその人らしい御洒落が出来る様に支援する		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みを把握し、メニューに取り入れたり、一緒に食事作りを行っている		片付けを職員と共に行う 外食をしたり、食事を楽しんで貰える支援を行う		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの体調に合わせて刻み食やミキサー食にしたりご飯をお粥にしたり変更している。食事量や水分量を記録し全体を把握し過不足に対応できるよう努めている		水分や食事量を把握し、一日に必要な摂取量の確保に努める		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎日夜間義歯を預かり義歯洗浄剤を使用している。歯科医師が往診に来て下さり、口腔内チェックをし指導のもと、口腔ケアを毎食後に行っている		利用者様の能力に合わせた、うがいや歯磨きを行う 訪問歯科も利用する		

自己	外部	項目	自己評価	うめ	自己評価	さくら	自己評価
			実践状況		実践状況		実践状況
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	できるだけ同じ時間(毎食後)にトイレに誘導し、排泄のリズムをつけて頂く様にしている		利用者様の排泄パターン習慣を把握し、言葉掛けを行い、自立に向けた支援に努める		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や食事の工夫、散歩等の支援を行い排泄のチェック表を利用し、排泄のパターンを全員で共有し便秘予防に水分を勧めたりしている		適度な水分補給や運動に努める 便の出ない日が続いたら便秘薬を使いコントロールする		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人ひとりの体調に留意し、希望を確認しご自分の意思で入浴できるように支援している		体調の悪い時や気分の向かない時は、無理に入浴せず入浴できるときに気持ちよく入浴してもらう		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調や生活習慣の状態を把握し、生活リズムや就寝時間の調整によりストレスを取り除き安眠出来るよう支援を行っている		傾眠が強い方は日中臥床時間を作り居室に休んでもらう		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師による薬剤管理を行っている。薬の目的や副作用、用法の用量について職員も理解しており入居者様の体調の変化の確認に努めている		薬を把握し確実に服薬介助行う 服薬後も体調に気を付ける		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様の個々の生活歴や能力に合わせて家事や畑仕事、手芸等を勧めて日々の暮らしが楽しめるように支援している		利用者様それぞれに応じた役割を持っていただく 散歩に行き気分転換を図ってもらう		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ドライブや買い物、花見や見学などを家族様と相談しながら出かけられるように支援している		外出・季節に応じた花見・ドライブをする		



自己	外部	項目	自己評価	うめ	自己評価	さくら	自己評価
			実践状況		実践状況		実践状況
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している		入居者様の希望や能力に応じ金銭管理や買い物支援を行っている。訪問販売で入居者様がお金を使える機会も作っている		買い物や外出時、自ら支払いを行える場を提供しお金を使える喜びを感じてもらう	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている		自分の携帯電話を使用して頂いたり、年賀状を家族様にだしたりしている		年賀状、電話を通じ外部などと交流を日常に行える環境を作る	
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている		季節の飾り付けをしたり整理整頓をして不快にならないようにしている		住居スペースを清潔に保ち安心して過ごせる環境作りを行う	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている		一人になりたい時には居室に戻って頂き、話がしたい時にはホールで話ができるようにしている		ホールやソファ等で休んでいただく、他の利用者様と談話できる場所を提供しながら居場所の確保	
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている		馴染みのタンスや衣類を持ってきて頂き、居心地良く過ごせるように御家族様と連絡を密にしている		普段使っていた家具等を居室に置き家庭と変わらない安心して生活できる環境作りに努める	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している		足腰の不安な入居者様には歩行器やシルバーカーを使用して頂き、安全に過ごして頂けるようバリアフリーにして通路が広くとれるように整理整頓している		トイレや洗面所やお風呂場の案内を分かりやすく表す 手すりやバリアフリーなどを設置する事で利用者様が安心して利用でき安全に過ごせる環境作りに努める	